

成果指標				
成果指標	施設の効率的な維持管理			
指標設定の考え方	地域事務所維持管理費の節減による施設管理			
区分年度	24年度	25年度	26年度	目標22年度
目 標	10,756千円	8,789千円	1,0551千円	0
実 績	7,530千円	7,298千円	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	地域事務所においては、窓口業務・地域振興係りがあるが、地域住民サービスの観点から職員の資質向上を目指し、迅速かつ的確な事務処理を行い住民サービスを徹底し、地域づくりに貢献することが最重要であるとともに、財政面においても更なる経費節減に努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	地域事務所職員が年々減少する中、住民サービスの低下につながらないように本庁関係課と連携を密にし対応する必要がある。庁舎の維持管理費については、おおむね金額が確定しつつあるが今後とも必要最小限の経費での運営に努める必要がある。また、当施設は公民館施設、社会福祉協議会、なかやま学童広場、住民自治支援センターの複合施設となっており、地域住民の活動の拠点施設となるようアピールに努め、有効活用を図っていく必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	庁舎管理における経費削減はもとより、佐礼谷自治支援センター(旧佐礼谷出張所)の有り方について、公の施設再配置計画の作成にあわせ、改めて協議する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。